

環境学習みえ

2011年7月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行
表紙の人／中村 みつ子さん（志摩半島野生動物研究会） 2011 No.45

夏

三重の天然記念物②

和具大島暖地性砂防植物群落

こどもエコクラブ
センターニュース
・今月の企画展示
・講座のご案内ほか



和具大島暖地性砂防植物群落

今回の「三重の天然記念物」は、1936年1月、県の天然記念物に指定された「和具大島暖地性砂防植物群落」をご紹介します。



お話を伺った人

志摩半島野生動物研究会

中村 みつ子さん

- ・伊勢志摩国立公園パークボランティア
- ・日本野鳥の会
- ・自然観察指導員

志摩半島野生動物研究会では、志摩半島を中心に、県内の野生動物とその生息環境の保護・保全活動に取り組んでいます。おもにアカウミガメの産卵状況、伊勢湾におけるスナメリの生息状況、県内に生息する希少動物の確認、などの調査を行っています。

大島は、壊れやすい自然だからこそ守っていく必要がある場所です。



「和具大島暖地性砂防植物群落」

「和具大島」は、志摩市の和具漁港の南方約2.5キロメートルの海上にある小さな無人島です。島の東西の低い林を結ぶように堤防が通っていて、堤防の南側は、レキ浜と岩礁で形成されています。さらに北側には、広い砂浜が広がり、ハマモト、ネコノシタ、ハマゴウなどの海浜植物群落が見られます。こうした海浜植物が群生していることから、「和具大島暖地性砂防植物群落」として県の天然記念物に指定されました。

この和具大島周辺は、地元の漁師や海女さんにとっては、よい漁場であるといえます。現在、和具大島へ渡る定期船はなく、一般の人が島に入る機会はありませんが、人の出入りが少ない無人島であるため、希少な自然環境が残されているといえるでしょう。

志摩半島野生動物研究会による「和具大島の植物調査」では、46科94種の植物が確認されています。(平成13年度「地域で守りたい自然」動植物調査参照) また、植物だけでなく、野生動物の貴重な生息地としても知られています。

今回、お話を伺った志摩半島野生動物研究会の中村さんは、和具大島において、生息する動植物の調査および保全活動を行っています。志摩生まれの志摩育ちであり、和具大島は子どもの頃、海女である母によく連れてきてもらったという思い入れのある場所です。そんな中村さんにとって、守っていききたい自然「和具大島」の魅力についてお話を聞きました。



かいひん
海浜植物って？

海浜植物とは、海岸の砂地や岩場などに生育する植物です。内陸の土壤にくらべて、栄養分が乏しい、などの厳しい環境に適応する力を持っています。

海浜植物に、葉が厚いものが多く見られるのは、乾燥に耐えるため、厚い葉に水分を保っているからだといわれています。また、強風や波にも負けないよう、地面をはうようにして生育する特徴がみられます。

和具大島の海浜植物たち

大島には、数百ものハマオモトが群生しています。

ハマオモト 別名：ハマユウ



- ヒガンバナ科 ●多年草 ●有毒
 - 県の準絶滅危惧
 - 花期：8～9月
- 白いひも状の花びらの花が咲きます。

ハマナタマメ



- マメ科 ●多年草 ●つる性
 - 県の準絶滅危惧
 - 花期：6～9月
- 豆果は大きくて10cm以上になり、種子はかたい表面に覆われています。

ネコノシタ
別名：ハマグルマ



- キク科 ●多年草
 - 県の絶滅危惧Ⅱ類
 - 花期：7～10月
- 葉にかたい毛があり、触るとざらざらして猫の舌に似ていることからこの名前があります。

ハマボウフウ



- セリ科 ●多年草
 - 花期：6～7月
- 根茎が太く、地中深くまで垂直に伸びます。

ハマアザミ
別名：ハマゴボウ



- キク科 ●多年草
 - 花期：6～12月
- 葉の縁に多数の針があります。

ハマボッス



- サクラソウ科 ●2年草
 - 花期：5～7月
- 直径1cm程の小さい花が咲きます。茎はやや赤みがかっています。

ハマヒルガオ



- ヒルガオ科 ●多年草 ●つる性
 - 花期：5～6月
- 鮮やかなピンクの花を咲かせます。茎はつる性で砂上に広がって大きく群生します。

キケマン



- ケシ科 ●海岸などに生える2年草
 - 花期：4～5月
- 黄色くて細長い花が多数咲きます。

参照：「三重県レッドデータブック 2005 植物・キノコ」

和具大島の希少な動物たち

アカウミガメ



●カメ目 ウミガメ科
●県の絶滅危惧Ⅱ類
5〜8月頃、砂浜へ上陸して産卵します。

オカヤドカリ類



●国の天然記念物
十脚目 オカヤドカリ科に属する陸生のヤドカリ。

ウチャマセンニューウ



●スズメ目 ウグイス科の夏鳥
●県の絶滅危惧ⅠB類
4月下旬頃に大島に渡来し、9月下旬頃に渡去するのではといわれています。

和具大島では、ウチャマセンニューウ、シロチドリ、コアシサシなどの希少な鳥類の繁殖も確認されています。

参照：「三重県レッドデータブック 2005 動物」

和具大島の自然を守る活動①
「ユッカランの駆除作戦」

希少な自然が数多く残された和具大島に環境の変化が起きています。それは、砂浜の植物群落に繁茂したアツバキミガヨランです。アツバキミガヨラン(通称ユッカラン)はリュウゼツラン科の北アメリカ南部原産の外来植物です。ユッカランの侵入によって、ハマモトなどの在来の海浜植物の生育に影響がでています。

▶和具大島でユッカランが植栽された記録はなく、自然に漂着したのではないかと考えられます。



志摩半島野生動物研究会では、平成16年度から環境省グリーンワーカー事業などで、「ユッカランの駆除作戦」を行っています。

高さ1〜3メートルあるユッカランの厚い葉先は鋭くとがっていて、人が近づくのも大変です。平成17年の駆除活動では、ボランティアなど約100人が参加し、4日間の作業で約7トンを駆除しました。

中村さん「小さな根でも残っていれば、再び、出芽するほど、ユッカランは生命力の強い植物です。」
地上部の株だけを駆除するのでは

▶他の海浜植物を傷つけないように、手作業で砂の中を掘っていくと、太い根っこがたくさん埋まっています。



なく、砂の中に広がった根っこごと掘り出す必要があります。放っておけば、大きく成長してしまう恐れがあり、今後もユッカランの根絶を目標に、駆除活動が続けられる予定です。

◀掘り出したユッカランは、船で島外へ運び出したあと、焼却処分します。



和具大島の自然を守る活動② 「ドブネズミ駆除作業」

平成17年から和具大島においてドブネズミの糞や食痕が、確認されるようになりました。島内へどのような形で侵入したのか、はっきりわかりませんが、今、和具大島ではドブネズミの増加が問題となっています。残念なことにアカウミガメの産卵巣が食べられたり、野鳥の巣が壊されるなどの被害が出ています。なか

でも、ウチヤマセンニュウは離島で繁殖し数が少ないため、ドブネズミなどの外敵が侵入した場合、その数が減ってしまう恐れがあります。

現在は捕獲器を使って、ドブネズミの駆除を行っています。ドブネズミの捕獲器では、対処できない状態です。また、頻繁に足を運べる場所ではないため、作業が思うように進まないといえます。完全に駆除するには、捕獲器のほかにもっと良い方法はないか…と今後の対策に頭を抱えています。

守りたい自然「和具大島」

「和具大島」は、県の天然記念物に指定されている暖地性植物群落のほか、アカウミガメ、野鳥などの貴重な生息地あるいは繁殖地となることがわかっていきます。

子どもの頃から、和具大島を訪れていた中村さんには、「大島の自然が、このまま保たれていったらいいな」という想いがあります。ユッカランやドブネズミなど、後から侵入した外来生物によって、在来生物の生息

が脅かされている現状に中村さんは心をいためています。海に囲まれた小さい島内で、少しの環境の変化がそこにすむ生物にとっては、大きな影響となる可能性があります。「和具大島」は、壊れやすい自然であるということがいえるでしょう。

中村さん「元々の自然環境を保つために、人間が手を入れて守っていただく。だけどそれ以外は、自然に任せようという考え方です。」

中村さんたちの活動が実を結んで、和具大島の豊かな自然環境が、将来にわたって続いていくことを期待しています。

写真提供

志摩半島野生動物研究会 中村みづ子さん

志摩半島野生動物研究会

ホームページ

<http://shima-yaseiken.sakura.ne.jp/>

三重県志摩半島を中心に活動する志摩半島野生動物研究会では、「野生動物学習会」や「自然観察会」などを行っています。

平成23年度「ユッカラン駆除作業」については随時、志摩半島野生動物研究会ホームページなどでお知らせします。

▲アカウミガメの産卵巣のドブネズミによる食害



▲捕獲器を置いた場所に印をしないと、植物に覆われてしまい、わからなくなってしまう。

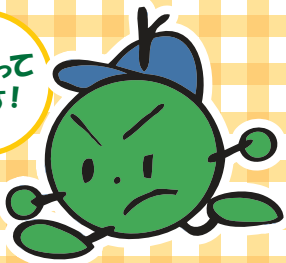


▲捕獲されたドブネズミ。体長20～30センチほど。



▲和具大島で観察会の下見を行う中村さんたち。

がんばって
います!



こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

青山エコキッズ大森 (伊賀市)

- ・会員数2名 ・サポーター数3名
- ・クラブの構成 家族
- ・代表サポーターの大森さんに聞きました



いつどのよう
にできたのですか?

青山エコキッズ大森は、2001年(平成13年)春に発足しました。長女が小学校3年の時、こどものためになる活動はないかと探していた矢先、公民館でこどもエコクラブ会員募集のチラシを見つけたのがきっかけでした。

青山高原の中の住宅地での活動ですが、少し足をのぼすとすぐに自然あふれる環境がまわっています。“かけがえない地球にいいことしよう”を合言葉に現在も活動しています。



どのような活動
をしていますか?

最初は自宅周辺のゴミ拾いから始めました。またチューリップの球根を植え観察。アクリルたわし作りについて。その成果をまとめ壁新聞作品を応募し、2002年に「こども地球環境の集い」に招いてもらい全国の仲間と琵琶湖で3日間過ごしました。

こども環境特派員三重県代表として学習する機会をいただいたことにより、滋賀県の小学5年生が乗って学ぶ

学習船「うみのこ」に乗船し、あらゆる方向から琵琶湖を体験しました。



写真①学習船「うみのこ」

講演ではC.Wニコルさんから「森と海、水がたぐく世界の環境」という貴重な話を聞きました。一番素晴らしいのは、活動した事をそれぞれまとめた、新聞記事として掲載してもらったことです。地域に発信するという役目を果たした経験はとても貴重でした。

現在継続している活動としては、分別によるリサイクル活動、生ごみのたい肥作り、廃油せつけん作り、アクリルたわし作り、ツバメの観察、食べられる野草のてんぷら作り、ほたるの観察会参加。また、サポーターは電力工

ネルギーの勉強会・見学会等の参加による報告会です。



写真②野草のてんぷら作り



どのようなこと
を子どもに伝えたいですか?

私たちのような活動は、日々皆さんがしていることです。だから環境に関する活動ならなんでも“エコロジカルあくしょん”ですね。地球を守るために出来ることをコツコツと続けていきたいと思います。

写真③雪だるまを作りました!



こども エコクラブとは

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは
環境学習情報センターまで

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。



こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」
<http://www.j-ecoclub.jp>



夏休みこども環境講座のご案内

センターでは、今年度も小・中学生を対象にした「夏休みこども環境講座」を開催します！
一部講座では、年齢制限があります。講座によって開催場所が異なりますので、ご確認ください。
申し込みは、往復ハガキでのみ受け付けます。
今年の夏は、楽しく環境を学んでみよう！

締切:

7月25日(月) 必着

詳しくは、センターHPを見てね♪



- ① 8月4日(木) **尾鷲^{はし}ひのきのマイ箸づくり**
- ② 8月7日(日) **PPバンド(荷作りバンド)でカゴをつくろう**
- ③ 8月7日(日) **海からのおくりものクラフト**
- ④ 8月9日(火) **ソーラーカーを作ろう!**
- ⑤ 8月11日(木) **ながれぼしをさがそう!**
- ⑥ 8月13日(土) **自然(風力)エネルギー教室~風で電気を作ろう~**
- ⑦ 8月20日(土) **川の生き物をさがそう!**
- ⑧ 8月23日(火) **環境バスツアー**【行き先:ユニバーサル造船(株)、井村屋(株)】
- ⑨ 8月28日(日) **牛乳パックで季節のおたよりをつくろう☆**

環境活動のPRができる!

今月の企画展示

4月

株式会社 東芝
セミコンダクター社
四日市工場



センターリニューアル後の最初の企画展示でした。企画展示再開です。

「株式会社 東芝 セミコンダクター社 四日市工場」は、デジタルカメラや携帯電話などに使われているメモリ製品を作っている会社です。

その、生産過程に必要な水や化学物質等の再利用・廃棄物の発生抑制、そして、その適正処理など、生産する上での環境負荷の低減に努めています。

また、将来の日本の環境を守っていってもらう子どもたちには、まずは環境に関心をもってもらうことが必要。そのために、地元小学校(4校)の出前環境授業を行っています。また、いらなくなったカレンダーはエコバッグに、手帳は聴覚障害者の筆談ノートとして再利用することを推進しています。

5月

株式会社 東産業



「株式会社 東産業」は、私たちの生活で欠かすことのできない「水」と関わった仕事をしている会社です。

*工場の排水処理場の「水」の浄化処理とメンテナンス

*各家庭の浄化槽や、下水処理場での「水」の浄化処理とメンテナンスなど。

そして、東産業といえば「エコ戦隊^{ゼロ}ゴミ0レンジャー」!!展示では浄化槽のしくみなどをパネルにしたものと一緒に、ゴミ0レンジャーからのクイズを出していただきました。これに答えると「エコ戦隊ゴミ0レンジャー」からお手紙がもらえるというユニークな企画です。展示期間中、これが大変人気でした。



ようこそ!&訪問しました

4~6月

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習の受け入れを行っています。

環境学習情報センターに来館してくれた小・中学校

四日市	塩浜中学校(1年)、港中学校(1年)、富洲原小学校(4年)、内部小学校(4年)、富洲原中学校(1年)、三重西小学校(4年)、北勢きらら学園 中学部
菟野	千種小学校(4年)
鈴鹿	鼓ヶ浦小学校(4年)

環境学習情報センターが訪問した小・中学校

四日市	富洲原小学校(4・5年)、下野小学校(5年)、内部中学校(2年)
いなべ	十社小学校(5・6年)
亀山	井田川小学校(4年)、亀山西小学校(4・5・6年)
松阪	大江中学校(1年)
津	栗葉小学校(5年)、豊が丘小学校(4年)

環境学習情報センターの講座情報 講座NEWS

講座内容は、都合により変更になる場合があります。

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合 地域NPOの場合 自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。 メンバーのレベルアップにご利用ください。 市町での環境活動を増やすきっかけ作りにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

イベント・講座名	開催日	開催場所	申込締切	内容
Mieこどもエコフェア	7月23日(土) 24日(日)	鈴鹿山麓リサーチパーク	当日参加	こどもたちが、見る・触れる・作る・考えるなどの体験を通じて環境について楽しく学べるエリア最大の環境イベントです。参加無料
PLT指導者養成セミナー《伊賀会場》	8月21日(日)	三重県上野森林公園	8月1日(月)	植物を中心とした参加体験型の環境学習プログラムの指導者養成講座です。2回とも同じ内容で行います。
PLT指導者養成セミナー《尾鷲会場》	9月11日(日)	三重県熊野古道センター	8月22日(月)	
第2回 ヒヌマイトトンボに関する環境セミナー	9月16日(金)	三重県伊勢庁舎	9月15日(木)	ヒヌマイトトンボ生息地保全区域の調査結果と今後について。先着順
スキルアップ講座 「ジャコビニ流星群を見るために」	9月4日(日)	三重県環境学習情報センター	8月26日(金)	今年10月8日には、13年ぶりに「ジャコビニ流星群」が、活発に活動すると言われています。流星とは何か、どのように見ればいいのか、観望会を開くにはどうすればいいか紹介します。
	9月19日(月・祝)	横山ビジターセンター	9月9日(金)	
環境工房「身近な植物を見直そう」 —身近な植物による染色—	9月18日(日)	三重県環境学習情報センター	9月5日(月)	矢車附子(やしやぶし)・くず・栗の皮などの自然のものをを使った染色体験をします。
スキルアップ講座 「利己的な遺伝子 ～遺伝子からみた行動の進化～」	9月17日(土)	三重県文化会館	8月23日(火)	ローレンツの古典的動物行動学の話
	11月26日(土)	松阪市嬉野ふるさと会館	11月1日(火)	女は弱い されど母は強い
	2月4日(土)	フレンテみえ	1月10日(火)	浮気の報酬—雄と雌
自然観察指導員講習会	9月23日(金・祝) ～25日(日)	四日市市少年自然の家	8月31日(水)	自然の見方、自然保護の考え方、自然観察の手法を学び、自然を見る目を養います。修了後、日本自然保護協会の自然観察指導員として登録。先着順

センターへの来館・出前講座などで使える 環境講座

PICK UP 水質チェック



対象：小学生中学年以上・大人（30人以内）
時間：60分～90分

私たちは自分が使う水については敏感ですが、使い終わった水については意識することが少ないのではないのでしょうか。生活排水などの汚れを簡易な方法で調べることで、水をなるべく汚さないようにするにはどうしたらいいか考えます。

※出前講座の場合は消耗品のご用意をお願いします。詳しくはお問い合わせ下さい。



COD/バックテスト

まだある! 環境講座

大気調査講座、自然体験、ごみ・リサイクル講座、買い物ゲーム、水生生物調査、環境を考える消費者講座、エコソング「うたおう&おどろう」、地球温暖化防止と省エネルギー、など

学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境講座」をご利用下さい。各講座ともセンターでの開催、各地に出前での開催が可能です。講座内容につきましては、ご希望に合わせ相談させていただきます。お気軽にご連絡下さい。

※原則として、希望日の1カ月前までにご連絡ください。出前講座については使用する消耗品のご準備をお願いしています。

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11(地番変更しました。郵便はこちらまで)

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
開館日	1月4日～12月28日まで (12月29日～1月3日まで休館)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい

